

科目名	地域企業論
単位数	2単位
担当者	山崎 義広
授業種別	講義科目

サブタイトル	流通システムから地域企業を学ぶ			
授業内容	中小小売業者の淘汰・廃業、食の安全、商店街や百貨店の衰退などが国の地域と産業は大きな変革期を迎えています。他方、誰も聞いたことがある大企業が、実は地域から小さな一歩を踏み出したケースは数多く存在します。本講義ではそうした地域をめぐる企業について流通の視点から様々な事例を学びます。そのうえで流通をめぐる考え方と多様な現実を理解するための知識の習得を目指します。また、毎回の小テスト内では当該事例についてさらに「調べ」・「書く」ことにより理解を深めていきます。			
到達目標	(1)世の中の地域企業について、特に流通の視点から基礎的な構造を理解すること。 (2)身近な流通について、講義の中で学んだ視点から理解し自ら調べ理解した上で、他人に説明できるようになること。			
到達目標となる駿大社会人基礎力／養成する能力要素	言語処理力、情報処理力、課題発見力			
卒業認定・学位授与方針との関連	本科目の各種課題や参加を通じて、経済経営学部のディプロマ・ポリシーの「(1)基礎的な力」、「(2)考える力」、「(5)総合的な力」を養う。			
関連科目	経済学や経営学の基本的な科目を履修することが望ましい。			
テキスト・参考書等				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
1からの流通システム	崔 相鐵・岸本 徹也（編）	碩学舎	978-4-502-26191-6	テキスト：毎回の講義で使用するので必携です。
授業外における学習方法及び必要な時間	・復習は欠かさないこと（4時間/週）			
成績評価方法				
評価方法	評価割合	成績評価基準等		
定期試験	50%	到達目標（1）、（2）に対応してテストを実施する。		
小テスト	40%	到達目標（1）に対応して毎回小テストを実施する。		
発言・参加態度	10%	参加態度と質疑応答時の発言を評価する。		
その他関連事項①	-	毎回出席すること。欠席回数が4回を超えた場合には成績評価の対象外となり、単位習得を認めない。		
その他関連事項②	-	受講者数、学生の理解度・要望により一部の内容や進行形式等を変更することがある。		
課題に対するフィードバックの方法	小テストを行い授業内で模範解答や関連事項を説明する。			
実務経験のある教員による授業科目等				
担当教員の实務経験	実践的な教育の取組			
-	-			
授業計画				
第1回	ガイダンス：日本における小売業態の生成と進化			
第2回	商業集積ー中小小売商の集まりとしての商店街の行方ー			
第3回	呉服系百貨店ーはじまりとこれからー			
第4回	電鉄系百貨店ー阪急百貨店を事例にー			
第5回	総合スーパー：ダイエーを事例に			
第6回	食品スーパー：関西スーパーマーケットを事例に			

第7回	コンビニエンスストア：セブン-イレブン・ジャパンを事例に
第8回	均一価格店：大創産業を事例に
第9回	ドラッグストア：マツモトキヨシを事例に
第10回	総合ディスカウントストア：ドン・キホーテを事例に
第11回	家電量販店：ヤマダ電機を事例に
第12回	紳士服量販店：洋服の青山を事例に
第13回	家具専門店：ニトリを事例に
第14回	衣料専門店：ファーストリテイリング（ユニクロ）を事例に
第15回	まとめ